

「防災塾・だるま」2019年1月定例会 議事録

<http://darumajin.sakura.ne.jp>

- 日時：2019年1月25日 15:30~17:30 司会：田中 栄治
- 場所：神奈川大学 24号館310室
- 出席者：池田、伊東、荏本、高松、中島、田中(喜)、山田(美)、片山、田中(晃)、玉井、佐々木、山田(富)
稲垣、早川、紅林、三浦、増田(佳)、田中(栄)、中村(誠)、鷲山 計20名(敬称略)
- 配布資料：1. 意見交換テーマ「どうしたら防災に関心を持ってもらえるか」
2. 防災ギャザリング2019(5/11:市民防災センター)
3. 第2回神大防災フェア2018参加記録 4. 162回談義の会レポート(12/21)
5. 神奈川新聞「減災新聞」(2019/1/20、2018/12/16)
6. 講演会情報(首都大学2/9、東京防災ホリデー2/23、都筑区2/18、復興応援・復興フォーラム2/10)

<チラシ関係> ①「第164回談義の会」チラシ

②はやま防災ネットワークニュース

*お願い=大学24号館310室使用時は静粛に(廊下での発声音・携帯電話、机・椅子移動時)

【Ⅰ意見交換：今月のテーマ】「どうしたら防災に関心を持ってもらえるか」・・・田中(栄)、片山、田中(晃)
<発言から抜粋> 高松、鷲山、稲垣、紅林

- ・会員数250余りの自治会であるが、関心を持っている人が少ない。県西部地震(H19)後は防災の取組が盛んだった。関心を持ってもらえるように、毎月ゲーム・ワークショップを行っている。温泉地学研究所に講師を依頼した時は、参加者は増えるが顔ぶれが同じ。スクールボランティアにもなり、学校へも働きかけている
- ・無関心の人が多いのは、正常性バイアスも要因の一つかもしれないが、公表されている首都直下地震の死者数が3万人というのは小さすぎる。脅しではなく本当のことを公表すべきではないか。過去の災害でも備えていた自治会と、そうでないところでは被害の差は歴然としている
- ・96年前の関東大震災で、県西部の酒匂川の流域では水害はあったが、津波の被害はなかった。行政が津波被害に対してあまり熱心でないのは、過去の被害に影響されているのではないかと懸念
- ・シニアクラブで防災の話もするが、講演会をしても来る人は決まっている。楽しめる工夫が必要
- ・学校で防災ゲームとかをやっているが、運動会でバケツリレー・担架リレーをやっても継続性がない
- ・ゲームは時々やるようにして、一回やって終わりではないようにしている
- ・自治会への提案で、1週間後に大地震が来るとしたら何を準備するかアンケートをしたらどうか?根尾谷地震断層観察館へ行くとか、家具固定しないと家具が飛んでくるとか、煙体験をもっと刺激のある煙でやるとか、実際に見る、体験することが必要
- ・ここ100年程起きていないという正常化バイアスの影響
- ・4枚のプレートが重なっているのが小田原市の地下。松田断層とか意識しているのか?最近、プラタモリの影響で地学に関心は高くなっている。箱根山が噴火したら小田原全市が避難することになる
- ・一時的、一過性で自分の問題として捉えられない。防災は学校と町内会が繋がれば、子供から親へ繋がって知らせる流れも出来る
- ・食料・水を用意しただけではダメで、生き残らないと!という意識がない
- ・地元自治会では、自助の取組状況についてアンケートを行って、現状を伝えるようにしている。

【Ⅱ運営関係】

1. 会員、会計関係・・・中島、早川
 - ・会員：養成講座を受講した石田博英さんが、12月入会
 - ・30年度年会費未納者は17名。未納会員については次回リストに掲載
2. HP・情報提供など・・・中島、増田(佳)
 - ①HPの更新(12/30~1/20)
 - ・1月だるま役員会議事録
 - ・12月だるま定例会議事録
 - ・第162回談義の会レポート
 - ・毎月の情報1月分
 - ・第162回談義の会の講演資料(釜石講師)
 - ②2月情報：TEAM防災ジャパン(2/2)、震災対策技術展(2/7~8)
 - ③会員へのメール配信がストップした場合は連絡してください(一斉配信メールにトラブル発生のため)
3. 運営：定例会・談義の会・・・田中(栄)、中島、田中(喜)、片山、早川、池田
 - ①第162回談義の会(釜石講師)
 - ・拠点避難所の収容人数については、拠点(委)(2㎡/人)と市(3㎡/人)で判断が違っている

- ・12月談義は意見交換会という形式だったが、個々の問題に気づき、学ぶことが出来た
- ・トイレについては、一戸建ての下水管の被害が心配されるが90%は使える
- ・戸建の場合下水は、基本的に流して問題ない。マンションは流す際には上下階の協力が必要
- ・汚水桝が何処にあるか知らない人が多い。汚水桝以外は地中に埋設されている。
- ・横浜市の下水管は80%耐震化されているとのこと。近隣地域でも下水管が耐震化された

②年末懇親会報告：参加者44人。会計報告は次回・・・田中（喜）

③1月担当：田中（栄）・山田（美）、談義の会：「北海道胆振東部地震を体験して」講師：相原延光氏

④2月意見交換テーマ：「自然災害の情報収集と情報共有」（騙されないためにどう情報収集するか）

⑤2月～4月の予定（V参照）・・・3月担当：早川、田中（晃）

- ・第165回談義の会（関内ホール）：会場へはホール入って右手のエレベーターで地下2階へ
- ・2月意見交換テーマ：「地震が起きた時、何を考えるか」

4. 2019年度だるま総会の準備・・・中島

- ・1月役員会で検討開始した

【Ⅲ主催・共催事業など】

1. 特別企画「神奈川県総合防災センター見学会 1/10」：22名参加

2. 「1・17神戸慰霊祭」への参加

- ・7名が参加し、慰霊祭の前日16日、根尾谷断層（岐阜県）を見学。報告は3月定例会で発表

3. J-DAG、3BWG活動・・・片山、池田

- ・4/6相模原市で開催予定。城西大学では、今年度実施するか飯塚先生に確認しては？

4. 11/13（火）大学防災フェアに「かながわ人と智」が参加出展・・・山田（美）、山田（富）、中島

- ・防災ウォークは2回実施し、意見交換会では色々な発言があった。今後大学と地域の連携を検討
- ・竹中工務店のブースではヴァーチャルリアリティの体験（設定時間内に避難が出来ず焼死）

【Ⅳ協力・参加・情報・その他】

1. TEAM防災ジャパン 2/2：武村雅之氏の講演があり、1/25現在申込可能

2. 1/20減災新聞「神奈川県内でも試み、大学軸に地域と連携」（配布資料⑤）

3. 防災ギャザリング2019（5/11 市民防災センター：配布資料②）：だるま共催（人出不足で協力を）

4. その他・・・片山、山田（富）、田中（栄）、池田、中島、荻本

- ・2/27南足柄中学：昨年は防災について生徒による議論実施。今年は「防災めぐり（子供V）」予定
- ・大井町まちづくりの会は昨年10周年を迎えた。荻本塾長・だるま会員の協力に感謝
- ・酒匂川も上流にダムがあり、岡山県真備町や愛媛県大洲市と同様な被害が起きる可能性がある
- ・6月22日（土）：神大春期講演会で水害を取り上げる予定（西日本災害に関して情報が流れてこない）

【Ⅴ 今後の予定】

1. 平成31年2月例会 2月22日(金) 会場：24号館 310号室 月担当：中島、紅林

- ・3BWGプロジェクト 14：00～15：00 担当：片山
- ・定例会 15：30～17：30 担当：中島、紅林
- ・第164回談義の会 18：00～19：30 担当：中島、紅林
話題：「豪雨による災害に向けた行政サイド対応」 講師：藤岡浩之氏
- ・役員会 2月 5日（火） 10～12時30分 851C
- ・資料準備（当日） 2月 22日（金） 13～14時 851C

2. 平成31年3月例会 3月22日(金) 会場：横浜市青少年育成センター（関内ホール地下2階）
月担当：田中（晃）、増田（佳）

- ・3BWGプロジェクト 休会
- ・第164回談義の会 13：00～14：30 担当：田中（晃）、増田（佳）
話題：「神奈川県における被災地支援～東日本大震災から8年～」 講師：佐川範之氏
- ・定例会 15：00～17：00 担当：田中（晃）、増田（佳）
- ・役員会 3月 5日（火） 10～12時30分 851C
- ・資料準備（当日） 調整中

主な協力者 会計：早川 HP：佐藤・中島 チラシ・記録・情報担当：田中(喜)・紅林
佐藤・中村(誠)・中島・増田 3BWG：片山 実践講座：片山

(記録：中村誠)

以上